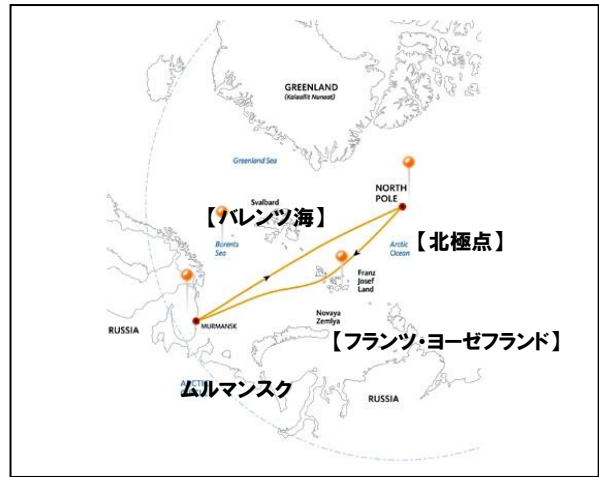


# <2014年北極点クルーズ 14日間>

クルーズ期間：2014年6月19日-7月2日 2014年6月30日-7月13日	
キャビンタイプ	料 金
ツイン	US \$ 24, 995
ミニ・スイートツイン	US \$ 29, 995
スイート	US \$ 34, 995
ビクトリー	US \$ 36, 995
アークティカ	US \$ 37, 995



## ■50イヤーズオブ・ビクトリー号



### Ship Deta

◆総トン数：23,000 トン	◆巡航速度：20.4 ノット (オープン水域)
◆全長：117.04 メートル	◆アイスクラス：LL1
◆全幅：30 メートル	◆乗客定員：128 名
◆喫水：11.08 メートル	◆乗務員：140 名
	◆客室数：66
	◆船籍：ロシア

【日程】\* 下記日程は、氷の状況や天候により訪問する場所が変わります。予めご了承下さい

1日目	<b>ヘルシンキのホテル集合</b> ヘルシンキの空港から各自にてホテルへ	<ヘルシンキ泊>
2日目	<b>ヘルシンキ→ムルマンスク→ビクトリー号乗船</b> チャーター便にてヘルシンキよりムルマンスクへ。着後、専用バスにてムルマンスク港よりビクトリー号に乗船	<船中泊>
3日目 ～ 7日目	<b>海上(バレンツ海)</b> 船内では「北極」についての船内レクチャーが始まります。 船は、北極点を目指し北進します。パックアイス(積氷)が織りなす氷の世界を堪能し、時にはヘリコプターで氷上遊覧飛行や厚い氷上散歩も楽しみです。	<船中泊>
8日目	<b>北極点到達</b> いよいよ北極点到達(北緯 90 度)です待ちに待った地球上の頂上に立った瞬間を心の底から全身で味わってください。幾多の苦い経験を背負い、北極点を目指した先人達、冒険家達の思いに馳せてみてください。 この地点でメンバー全員でシャンパンで乾杯です。氷上に降りて全員北極点のポールの周りで輪になり記念撮影をしましょう。そしてキャプテン船長のお祝いの言葉があります。この北極海に飛び込む水遊びにチャレンジする勇気あるメンバーもいることでしょう。一生の思い出に残ることでしょう。この時期の気温は、0 度前後です。思った程寒くはないでしょう。	<船中泊>
9日目	<b>南方へ航行</b> 船の舳先を南へと向けて進みます。途中、白クマに出会うごとに船を止めて観察してみましょう。 船内では引き続きレクチャーが開催されます。	<船中泊>
10日目 ～ 12日目	<b>フランツ・ヨーゼフランド</b> 北極点で祝宴を終え、船は南へと向かい、次に目指すのはフランツ・ヨーゼフランドです。1873 年に発見され今だそのほとんどが未踏であり、手つかずの大自然が残っています。ロシアの最北端に位置し、191 の島々からなり、様々な野生生物(イッカク、白イルカ、セイウチ、北極グマ、鯨、北極キツネなど)に出会えることでしょう。上陸後のハイキングやヘリコプターの遊覧飛行も楽しみです。北極点へと向かったノルウェーの探検家ナンセンとヨハンセンが 1896-97 年の冬に越冬した史跡も訪れます。バレンツ海を抜け、船はムルマンスク港へと向かいます。船内では、今回のクルーズ旅行をふりかえりながら最後の「北極」講座が開催されます。貴重な体験の数々が講座内でスライドショーにより映し出されます。	<船中泊>
13日目	<b>ムルマンスク帰港→ヘルシンキ</b> ムルマンスクに帰港。専用バスにて空港へ向かい、チャーター機でヘルシンキに移動します。	<ヘルシンキ泊>
14日目	<b>ヘルシンキ</b> ホテルにて朝食後各自解散。帰国の途へ。	

- 上記料金には、出港地の空港から棧橋まで、帰港後船から空港までの送迎代が含まれます。
- 料金は出発前後に変更になる場合もございます。■ご予約金はクルーズ代金の20%となります。残金は120日前までにお支払い下さい。
- クルーズ期間中ゴム長靴を無料で貸し出します。探検用パーカー付(フリース付3WAY)はお持ち帰りできます
- 日本発着の国際線運賃は含まれておりません。■お一人部屋ご希望の場合は、スタンダードツインキャビンの1.7倍が加算されます。
- 日程に記載しているゲートウェイ都市から出入港までのチャーターフライト代金は別途料金となります(お一人様 US\$1,690)
- 日程に記載している前泊及び後泊のホテル代、前泊のホテルから空港まで、空港から棧橋まで、帰港後、船から空港まで及び空港から後泊のホテルまでの送迎代が含まれます。■思い出の写真アルバム(DVD)プレゼント。
- お一人様救援費用最大 US\$100,000 の保険が加入されておりますが、その他の治療費用などは含まれておりません。お申込の際には、海外旅行傷害保険にご加入することを強くお勧めします。
- 原油価格が高騰した場合は燃油サーチャージが発生する場合があります。